

日本小児神経学会学術集会 参加報告

小児科部長 八谷靖夫

第67回日本小児神経学会学術集会に参加して参りました。鳥取県米子市で6月4日から7日まで開催されました。米子市にあります鳥取大学医学部脳神経小児科学分野の前垣義弘教授が大会会長でした。前垣先生が組まれた本学会のプログラムは、先端医療分野、患者やご家族支援、他職種連携、行政、教育、福祉など、多岐にわたり、テーマに合わせて、教育口演、シンポジウム、教育セミナー、などが組まれておりました。学会テーマの「ALL for One」に、前垣先生が思われている、「多様な分野の力を結集し、子ども達1人1人の幸福を目指す」、が込められていました。前垣先生の会長講演を拝聴し、改めてテーマの理解が深まりました。

鳥取大学医学部脳神経小児科は、昭和46年に日本で初めて大学に開設された診療科になります。初代教授は有馬正高先生です。有馬先生は米子市へ異動前の東邦大学小児科助教授でいらした時期に、開設当初の府中療育センターの小児科医長を兼任されました。長年にわたり小児神経学のなかで重症心身障害分野でも多大なご貢献をされ、先生が築かれた小児神経学分野の礎が今に繋がり、私達は日常診療を行うことができているのかもしれない。今回の学会参加を通して改めて感謝の気持ちを持ちました。有馬先生が初代教授をされた診療科が主催する今回の学術集会に参加するのは、何かのご縁かもしれません。今の私達が、少しでも何かを加えられたら良いですね。

当センターからは、田沼直之副院長、栗原亜紀部長、高山和子医師、大越優美医師、私が参加して、それぞれ発表(口演、ポスター)を行いました。また、昨秋まで当センターに勤務されていた松本葉子先生が口演発表されました。

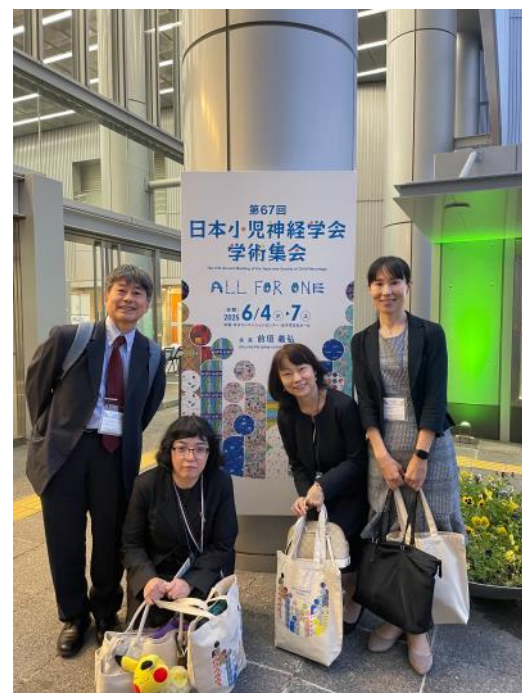
学会発表や学会聴講を通して得られました知見等を当センターの利用者に還元できるよう努めて参ります。

次回の日本小児神経学会学術集会は、栃木県宇都宮市で開催予定です。

今回の学会参加にあたり、関連する業務対応で、先生方、看護師の皆様をはじめ、センター内の各部署の職員の皆様にご尽力いただきました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

<写真>

田沼副院長、高山医師、栗原部長、松本葉子先生



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

FAX 042(322)6207

*ー*ホームページもご覧下さい*ー*

<http://www.fukushi.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

東京都立府中療育センター新聞 第570号 発行日 令和7年6月30日

通所遠足「JRA競馬博物館」

通所 伊東洋行

梅雨真っ只中だというのに、6月には経験したことのない猛暑が天気予報を独占しており、雨の出番を心から期待してしまいます。

そんな中、通所では「JRA競馬博物館」に6月19日・20日と2日間に分けて出掛けました。競馬博物館内はエアコンでよく冷やされた快適空間となっており、時間を掛けてゆっくりと競馬を学ぶことができました。

まずは、展示コーナー。活躍した歴代競走馬の名前と写真そして生涯獲得賞金額に大興奮!!ハイセイコーやオグリキャップ、ディーピンパクトにキタサンブラックと人気馬はどれも表情がよい!!なんて感心しながら、いよいよ次のステージ「G1体験」へ。

出走ゲートに入り、G1ファンファーレを浴びて「ガシャン!!」とゲートの開く音・・・出走馬となって一気に飛び出すといった緊張する瞬間を味わうことができました。

他にも、重賞レースの優勝カップや装備品、競馬の歴史等も見えて少し競馬に詳しくなれた気がします。

今回は昨年よりも多くのご家族に参加していただき、親子の笑顔がたくさん見られました。そして、馬に癒され楽しく満喫できた利用者の表情がとても印象的でした。



1A病棟 お楽しみ会



1A病棟 福祉職

6月4日（水曜日）に利用者4名のコンサートを生活療育支援科の指導担当職員と協力して開催しました。6月にちなみ「花姫の宴～紫陽花の調べ～」と題しました。制作活動で作成した紫陽花を壁面に飾り、とても華やかで鮮やかなステージができました。

4人の歌姫はコンサートに向けて支援科活動でのカラオケで一生懸命練習してきました。前回のコンサートから1年4か月ぶりです。当日は朝からとても緊張されていましたが、自分で選んだピンクのドレスに着替え、鏡を見るとにっこり笑顔がみられました。コンサートが始まると、応援の利用者の皆様も楽器を鳴らしたり、歌ったりし、大いに盛り上がっていました。また、今年は久しぶりに他病棟の利用者や他科職員を招待することができました。歌姫の皆様はコンサートが終わってすぐに、来年のコンサートに向け意欲

を見せています。応援の利用者の方々からも「私も歌いたい」「ドレスが着たい」と、希望者が続出しています。活気あふれる、楽しいコンサートになりました。



3C病棟 春のお楽しみ会



3C病棟 福祉職

6月19日にお楽しみ会で「梅雨を吹き飛ばせ！！ボール飛ばしゲーム」を行いました。デイルームには、この日に向けて利用者と一緒に制作した様々な表情や模様を入れた大小の「てるてる坊主」や「かえる」「傘」が的に飾られています。その的に向けてボールを飛ばします。

「どこまで引っ張れる？この紐は・・・」「うまく叩けるかな？

この台をこうして・・・」などなど、的に狙う姿はみなさん真剣です。

思いもかけないところに転がったり、跳ね返って止まった場所が高得点だったり、気ままなボールに利用者はじめ、医師、看護師、参加されたご家族の方々、会場はまさしく梅雨を吹き飛ばすような歓声や笑い声に包まれ、楽しい時間を過ごしました。



生活療育支援科 春の企画

生活療育支援科 指導担当



5月27・28日（火・水曜日）に、生活療育支援科行事「春の企画：春だ❀レトロ遊園地へ出かけよう！」を行いました。懐かしさを感じられる“レトロ遊園地”が多目的ホールにOPENし、記念にアドバルーンが高くあがりました！

遊園地へ入ってすぐは「レトロ商店街」。懐かしの駄菓子やあのキャラクターたちが並ぶ道を歩いていくと、焼き立てのホットケーキ～バターを添えて～（実は1枚1枚裏のキッチンで焼いていました）にコーヒーの香りが漂う「喫茶ビクトリヤ」が目の前に！カラフルなジュースを見たり触ったり嗅いだりしていると幸せな気分になれたのではないのでしょうか。

そして「紙芝居屋さん」が登場！輪になってどんなお話かドキドキ、じっくり耳を傾ける空間には懐かしさが詰まっていました。また、来園記念の写真は「顔はめパネル」で“笠天堂”の駄菓子屋さんのお婆さん、セルフコーナーではミニパネルで鉄腕アトムや金髪美女に変身して思い出の一枚を撮影しました。

続いて、遠くからでも楽しい声やにぎやかな音が聞こえてくる「アトラクションコーナー」へ、カラフルなバルーンアーチをくぐって到着です。スロープを使って乗り込み、スクリーンに流れるジェットコースターやメリーゴーランド、汽車の映像に合わせた揺れを楽しみました。笑顔や穏やかな表情の方もいれば、少し驚いた様子の利用者もいました。

「2日間入園料無料！」と謳い、利用者だけでなく、ボランティアやご家族・職員と多くの方にご参加いただきました。皆さんが楽しい時間を過ごしていただけたなら幸いです。ご協力ありがとうございました。

